

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民活動・ボランティア ニュース



2008年 4月号

平成20年3月25日発行
通巻112号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／
分部食堂／(有)デザインオフィス萩野
●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●四日市市●四日市市
市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ
●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワーク
すずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター
●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／い
せ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結
●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張
キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張
市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウ
リアム・テルズ アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊
賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●
明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町
民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市
町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店
／三重銀行各店／東海労働金庫各
店／第三銀行各店／メディカル光
各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール
／三重県地域機関(各県民セン
ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、
松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／
三重県柴町庁舎(情報公開窓口)／
三重県総合医療センター／三重県立
一志病院／三重県立志摩病院／三
重県立こころの医療センター／斎宮
歴史博物館／三重県立博物館／三
重県立図書館／三重県生涯学習セ
ンター／三重県男女共同参画セン
ター『フレンドみえ』／三重県人権
センター／三重県身体障害者総合福
祉センター／三重県環境学習情報セ
ンター／各市町役場

NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの 協働事業等提案を募集します！

県では、NPOが自ら企画して県に提案し、対等な立場で話し合い、双方が持つ特色を生かして、協働事業の構築や課題を共有するための研究を行う「NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの協働事業等提案を募集します。

この募集の説明会を4月8日(火)に行います。提案を予定している団体の方だけでなく、協働事業について興味をお持ちの方もぜひお気軽に参加してください。(事前申込不要)

詳細は、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

●事業の構築・推進を目指した事業提案

(1) NPOと三重県が協働で取り組む事業計画についての提案を募集します。

(2) 募集する事業提案のテーマ

1. 自由テーマ
2. 県庁からのテーマ
『地域(県内)の森林文化や木の文化の振興を図るための取組』

(3) 締め切り

4月30日(水) 17:00(必着)

(4) 公開プレゼンテーション・審査会

5月22日(木)

●課題の共有を目指した研究提案

(1) NPOと県が課題を共有することを旨とする研究についての提案を募集します。

(2) 募集する研究提案のテーマ

1. 自由テーマ
2. 県庁からのテーマ
『車いす使用者駐車区画の適正利用について』

(3) 締め切り

5月30日(金) 17:00(必着)

(4) 公開プレゼンテーション・審査会

6月26日(木)

●平成20年度募集説明会・平成19年度実践報告会(事前申し込み不要)

日時／4月8日(火) 13:30から15:50まで

場所／アスト津3階 みえ県民交流センター

●問い合わせ先・提案書提出先

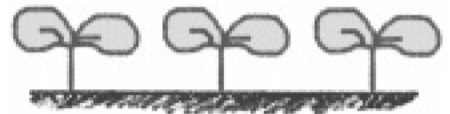
514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

《3月31日まで》 三重県生活部NPO室

《4月1日以降》 三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室

Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>



◆お知らせ◆ ※4月1日以降は、NPO室の名称が変わります。所在地・連絡先は同じです。

三重県 生活部 NPO室(3月31日まで)

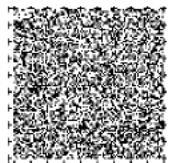
三重県 生活・文化部 男女共同参画・NPO室 NPOグループ(4月1日以降)

(514-0009 津市羽所町700番地アスト津3階)

Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

●認証申請団体

- (1) 名称 (2) 代表者氏名 (3) 法人事務所の所在地
- [1] (1) サンライズ魂 (2) 下小園重人 (3) 四日市市本郷町1番7号
 [2] (1) アーティスト・サポート・カウンセラー (2) 藤永智博 (3) 松阪市日丘町1386番地108
 [3] (1) まるごと三重情報センター (2) 福田慶一 (3) 津市大倉13番地26号
 [4] (1) いそべスポーツクラブ (2) 大形 修 (3) 志摩市磯部町恵利原557番地1
 [5] (1) M・K・Yグループ (2) 横畑 和 (3) 津市乙部2184番地
 [6] (1) 伊賀流いきいきプランさちの会 (2) 今井喜一郎 (3) 伊賀市上野恵美須町1261番地
 (平成20年2月10日～平成20年3月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- ステップワン(平成20年2月13日)
 (平成20年2月10日～平成20年3月9日届出分)
 ※関係書類は、三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

イベントスケジュール

「書いて伝える文章講座」～5限目～ ブログに活かせる文章テクニック

- とき/3月28日(金)19:00～20:30
- ところ/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階) ●参加費/1000円
- 内容/大好評だった「伝えるカスキルアップ講座」の中の「書いて伝える文章講座」が独立事業として継続することとなりました。1～4限を受講されていない方も、5限目以降の受講は可能です。今回はインターネット上での自己表現ツール「ブログ」に特化した講座内容です。ブログで活かせるワンランク上の文章表現を学んでみませんか? 講師はかけるWEBやさんリナゾーコム代表のスズキナ氏。「アタマの中身カタチにします」をモットーにホームページ制作に関わるデザイン、システム、ライティングなどをトータルプロデュースする。その他、Yahoo!BB、JTMックなど雑誌への執筆、オンラインショップ販促支援、コンサルティング等多種多様なジャンルで活躍中。
- 募集人数/20人(定員になり次第受付終了)
- 申込方法/名前・住所・年齢・性別・職業・連絡先を下記まで。
- 申込・問い合わせ先/松阪市市民活動センター Tel.0598-26-0108

【子育て広場:ドロップin】 第8回森であそぼ!

- とき/4月4日(月)9:15～15:00ごろ
- ところ/JR富田駅(1号線側)集合～菟野の奥の朝明茶屋(キャンプ場)の森 ●参加費/一般2000円、会員1500円
- 内容/みんなでバスに乗って朝明茶屋のキャンプ場にある秘密の森に出かけます。雨天でも親子で自然を満喫します。

おしゃべりサロン

- とき/4月21日(月)10:00～12:00
- ところ/子育て広場:ドロップin 事務所
- 参加費/一般300円、会員100円(コーヒー・ケーキ付)、ランチ400円 ●募集人数/先着10組
- 内容/最初は親子で手遊びをしたり絵本を読んでから、お母さんだけ2階でおしゃべり。子ども達はボランティアの託児スタッフが預かります。

スマイルキッズ2008

【説明会】

- とき/4月18日(金)19:00～21:30

4月19日(土) 10:00～11:30

- ところ/子育て広場:ドロップinの事務所
- 内容/スマイルキッズは、小学生のための自然体験&様々な体験事業です。2007年度の体験事業を振り返って2008年度の事業を説明します。

【第1回たけのこほり】

- とき/4月29日(火)8:45富田駅集合～15:00解散
- ところ/三岐鉄道の山城駅から行く里山

●問い合わせ先/四日市市富田1丁目8-11

子育て広場:ドロップin Tel.&Fax.059-363-3728

E-mail smile_dropin@yahoo.co.jp

ホームページ http://www.geocities.jp/smile_dropin



「元十代作家の会代表」石山浩達個展

- とき/4月8日(火)～13日(日)10:00～18:00
 (最終日のみ16:00終了) ●参加費/無料
- ところ/アスト津1階 ギャラリーアスト1
- 内容/弱冠20歳ながら、海外展の経験数回、国内では実力のある画家が多く難関と言われる独立展にも入選を果たしている石山浩達(いしやま・ひろみち)の県内初個展。
- 問い合わせ先/津市羽所町700 ギャラリーアスト1
 Tel.059-222-1522

四日市ドイツ語会話教室

- とき/4月11日～6月13日(毎金曜・全10回コース)
 19:00～20:45
- ところ/じばさん三重5階(四日市市安島1-3-18 Tel.059-353-8100 近鉄四日市駅から徒歩5分、駐車場有)
- 参加費/10000円(三重日独協会会員)、12000円(非会員)
- 内容/講師は三重大学ドイツ人留学生のユリアーネ・シュタインさん。毎回前半は、NHKラジオ講座のテキストにそった入門編、毎回後半は、会話の練習(フリートーキング)を主とします。
- 問い合わせ先/池田直子 Tel.059-351-4843

平成20年「県民の日」記念事業

- とき/4月12日(土)開場12:20
 13:00～16:00
- ところ/三重県総合文化センター内 文化会館中ホール
 (津市一身田上津部田1234番地)
- 内容/第1部は県民功労者表彰。第2部はスポーツジャーナリストの増田明美さんによる講演「自分という人生の長距離ランナー」。その後、県民の日記念公演として「ゆる体操」「こども・若者たちによるダンス演技」を開催。このほか、10:00より屋内&屋外イベントも実施。増田明美さんと津のまちを歩くウォーキング大会、健康づくり応援コーナー、具だくさんのみそ汁のふるまい、ユニバーサルデザイン(UD)体験コーナーなどがあります。詳しくはお問い合わせください。
- 申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13
 三重県健康福祉部健康福祉総務室「県民の日」記念事業係
 Tel.059-224-3056 E-mail kenfuku@pref.mie.jp

亀山市市民協働センター1周年記念事業

- とき/4月12日(土)13:00～16:30
- ところ/市民協働センター 1階多目的ホール
- 内容/亀山市市民協働センターがオープンし、早1年が経ちました。この間、市民協働センターでは、多種多様な公益性のある自主的な活動が行われ、多くの市民に親しまれてきました。また、より愛着や親しみをもってもらうために愛称を募集したところ、多くの応募

がありました。そこで、1周年を記念して愛称の発表と葉っぱ産業で有名な横石知二さんを招いて、記念講演会を開催します。

●問い合わせ先/亀山市民参画協働室

Tel.0595-84-5008 Fax.0595-82-1434

亀山市民協働センター Tel.0595-84-5800

Fax.0595-84-5801

子どもの権利条約フォーラム2008 inみえ(仮称)

「子どもにやさしいまちづくり」

●とき/4月19日(土)16:00~17:45(予定)

●ところ/アスト津3階ミーティングルームA・B

(津市羽所町700津駅隣接ビル) ●参加費/1000円

●内容/第16回子どもの権利条約フォーラム2008 in みえ(仮称)が、2008年11月23・24日に津市で開催されます。実行委員会発足にあたり、各地で進む「子どもの権利条例づくり」に関わってみえる、山梨学院大学法科大学院教授の荒牧重人さんの講演会を行います。なお、18:00から子どもの権利条約フォーラム2008 inみえ(仮称)第1回実行委員会を開催します。

●問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1

子どもの権利条約フォーラム2008 inみえ準備会(仮称)事務局

「チャイルドライン24」実施組織 Tel.&Fax.059-211-0024

E-mail jissshi@childline24.net

ミニシンポジウム「親たちが語る不登校」

●とき/4月19日(土)13:00~15:30

●ところ/アスピア(名張産業振興センター)3階会議室B

(名張市南町 Tel.0595-63-0080)

●参加費/500円(飲み物付)

●内容/我が子の不登校を体験した親たちがシンポジストになって本音で語ります。学校へ行けないこと、不登校からの生き方、親にできること、一緒に考えませんか?都合のよろしい方は16:00まで懇談できます。なお、毎月県内4カ所で開催の場である「親さろん」を開いています。ホームページをご覧ください。

●問い合わせ先/514-0006 津市広明町328番地津ビル

NPO法人三重にフリースクールを作る会

Tel.059-213-1116 E-mail npo@mienoko.com

ホームページ <http://mienoko.com>

フレンテみえファンファーレ2008

「ワーク・ライフ・バランス~パパたちの挑戦!」

パパの極意~仕事も育児も楽しむ生き方

●とき/4月26日(土)開場13:00~

13:30~16:00

●ところ/三重県男女共同参画センター

「フレンテみえ」多目的ホール

●内容/父親の子育てを支援するNPO法人ファザーリング・ジャパンの安藤哲也さんに聞く、仕事も子育ても地域活動もあきらめずに幸せな生活を送る極意!講演会終了後は、安藤さんを囲んで、男性限定の「パパたちの本音トーク」も行います。この他、子育て支援型フリーマーケット、ちょいワルおやじのカフェ、ワーク・ライフ・バランスパネル展などを開催。

●募集人数/先着150人

●応募締切/託児締切4月12日(土)託児料500円/一人

●問い合わせ先/514-0061 津市一身田上津部田1234

三重県文化振興事業団 三重県男女共同参画センター「フレンテ

みえ」 Tel.059-233-1130 Fax.059-233-1135

E-mail frente@center-mie.or.jp

サイエンスカフェin津「温暖化の影響評価を考える」

●とき/5月10日(土)13:00~15:00

●ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター交流スペース

●参加費/無料(ただし、コーヒー代一人200円)

●内容/日本大学教授・日本学術会議連携会員の野上道夫さんによるプレゼンテーション「温暖化の影響評価を考える」の後、質疑とディスカッションを行います。コーディネーターは三重大大学教授・日本学術会議連携会員の春山成子さんです。

●募集人数/60人(高校生以上対象)

●応募開始/4月15日(火)

●申込方法/電話またはFax。

●問い合わせ先/三重大学大学院生物資源学研究科環境共生学

科地域保全工学 春山成子 Tel.059-231-9576

Fax.059-231-9591

環境交流会~白砂青松の大淀海岸で~ 木と水の環境を語り合おう!第3弾

●とき/5月10日(土)14:30~20:00(雨天決行)

●ところ/明和町大淀海岸(大淀ふれあいキャンプ場&大淀地内)

●参加費/1500円(夕食・保険料・資料代など)

※宿泊希望の方は別途4000円が必要。

●内容/大淀の史跡をゴミ拾いをしながら散策します。その後、山(木)と海(水)の結びつきが深いことのお話しをお聞きます。最後にバーベキューを食べながら、参加者の皆さんから日頃の活動のお話しを聞いたり、環境について語り合います。

●持ち物/歩きやすい服装・靴、箸、皿、コップ、汁碗など(使い捨てでないもの)

●募集人数/先着30人 ●応募締切/4月28日(月)

●申込方法/氏名と電話番号を下記まで。

●申込・問い合わせ先/めいわ市民活動サポートセンター(担当:吉崎、谷口) Tel.0596-52-7129(受付時間 平日9:30~16:00) Fax.0596-52-7739

MIEF-IATSS(イアッツ)フォーラム 文化交流会

●とき/5月11日(日)13:30~16:00

●ところ/三重県総合文化センターレセプションルーム

(津市一身田上津部田1234) ●参加費/無料

●内容/アセアン諸国からの研修生及び三重県国際交流財団の国際交流員と交流し、それらの国々の文化及び習慣等について理解を深めます。当日は各国の結婚式の紹介やブース展示、チャリティーオークション、ダンス等を行います。

●問い合わせ先/財団法人国際交通安全学会

Tel.059-370-0511 Fax.059-370-0505

財団法人三重県国際交流財団 Tel.059-223-5006

Fax.059-223-5007

パネル展 「知ってください 動物たちの苦しみ」

●とき/4月2日(水)9:30頃~11日(金)16:30

基本的には平日8:30~17:15 土・日10:00~17:00

●ところ/鈴鹿市役所本館1階 市民ギャラリー

(鈴鹿市神戸1丁目18番18号) ●参加費/無料

●内容/殺処分、動物実験など動物たちの「いのち」がテーマ。

●主催・問い合わせ先/NPO法人動物実験の廃止を求める会(JAVA)(担当:武藤) Tel.090-7917-6015

E-mail tonpu805@mecha.ne.jp





ネットワークのよびかけ

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作ませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【協働勉強会】●とき/4月14日(月)13:30～16:30

【交流会】●とき/5月8日(木)13:30～16:30

●問い合わせ先/W.T.Aまちづくりセンター

Tel.0595-24-7612

【女性と子どものヘルプライン・MIEより】

デートDV防止プログラムの出前講座をします

高校生は知識や経験が浅く、インターネットやマスコミによる間違った情報の影響もあり、暴力を「愛情の表現」と勘違いしてしまいがちです。また、相談方法や相手がわからず、ひとりで悩んでいる被害者も少なくありません。知識を提供し、被害者にも加害者にもしないために、デートDV防止プログラムを届けたいと願っています。

傷ついてしまったあなたへ

傷つき体験から回復するためのヒント

暴力被害から回復した女性たちが、自分たちの経験をもとにして、暴力体験からの回復への手がかりを提供するプログラムを作りました。毎月一回、「DV・トラウマを理解する」「世間の枠と私らしさ」などテーマを決めて、学んでいきます。プログラムの開催は4月からを予定。全回参加の必要はありません。参加者のみ、詳細をお知らせします。なお、参加者の安全を確保するため、女性限定となります。

●申込・問い合わせ先/女性と子どものヘルプライン・MIE (mayu) Tel.090-9223-3351 Fax.0595-21-8991 E-mail dvhelpline@yahoocp.jp

「ブンカの交流館」貸館スタート!!

平成19年度のブンカの交流館は2月末日で終了し、平成20年度は7月から開始を予定しておりますが、開始までの間、ブンカの交流館スペースを時間貸いたします。講座の教室、講習会、発表会などにご利用ください。

●ご利用時間・料金/10:00～17:00 1000円(1時間) 17:00～21:00 1500円(1時間)

●ところ/ブンカの交流館(松阪駅前ベルタウン2階)

●期間/平成20年3月～平成20年6月末

●問い合わせ先/ブンカの交流館事務局(特定非営利活動法人Mブリッジ) Tel.0598-26-0108 ホームページ

<http://www.m-bridge.jp/business/index.html>

「みんなで創ろう『みえの舞台』会議」の委員募集

～あなたの提案で『みえの舞台』を一緒につくってみませんか～

県の総合計画「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」を、県民の皆さんと一緒に進めていくための広聴の仕組みとして、「みんなで創ろう『みえの舞台』会議」を設置します。この会議では、翌年度の県政を進めていくうえでの方向性を検討したり、予算を編成したりする段階での参考になるよう、県政運営の仕組みに合わせて県民の皆さんからご提案をいただきます。

●みんなで考えるテーマ/(1)身近な「知の拠点」の活かし方。

(2)地球温暖化対策のためにできること。

(3)「子育て」をささえる地域社会づくり。

●委員の役割/年6回の会議に参加。(任期1年)

●応募資格/平成20年4月1日現在、満15歳以上の方。

県内で地域活動に携わる方。

テーマに沿って提案し、他の委員と意見交換していただける方。

●募集人数/1テーマあたり15名程度。

●応募締切/4月18日(金)

●申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13 三重県政策部企画室 企画・計画担当 Tel.059-224-2025

Fax.059-224-2075 E-mail kikakk@pref.mie.jp

ドイツ人学生のホストファミリー募集

対象は三重大のサマースクールに参加するドイツの大学生15名です。学生たちは日本語での日常会話に支障ありません。滞在中、月曜から金曜の午前中は三重大で授業を受け、午後からは週に数回程度見学旅行を行います。週末は遠足に参加するか、ホストファミリーと過ごすかのいずれかです。受入条件は、朝食と夕食の提供と、一部個室を貸していただくこと。謝礼は5万円です。

●ホームステイ期間/8月16日(土)～9月12日(金)

●申込・問い合わせ先/大河内朋子 Tel.059-227-0687

E-mail okochi_tomoko@mac.com

●主催/三重大国際交流センター

第1回NPOフェスティバル

安心・安全なまちづくり 参加団体募集

楽しいイベントを通して、NPOの活動などを一般の人に知っていただき、人々の交流を深めるため、「安心・安全なまちづくり」をテーマに、NPOフェスティバルを開催します。ブースを利用し、活動紹介などを行う団体を募集します。

●開催日時/5月31日(土)11:00～16:00

●ところ/お城西公園(雨天時は津市市民活動センター)

●参加費/1ブース(2m×2m×2m)1500円

●応募締切/4月10日(木)

●問い合わせ先/津市NPOサポートセンター(担当:川辺、豊田)

Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201

E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

シニア海外ボランティア & 青年海外協力隊募集

体験談&説明会を実施します。「海外で活躍したい!」「行ってみたいけど、ちょっと不安…」という方はぜひご参加ください。四日市市以外の会場はシニアと協力隊、合同開催となります。

●とき・ところ/【伊勢市】4月12日(土)14:00

伊勢市観光文化会館

【津市】4月14日(月)18:30 アスト津3階

【四日市市】4月26日(土)シニア10:30、協力隊14:00

じばさんみえ 4階視聴覚室

【名張市】4月27日(日)13:30

名張市総合福祉センターふれあい1階102会議室

●問い合わせ先/三重県JICAデスク Tel.059-223-5006

ホームページ <http://www.jica.go.jp>

平成20年度通訳・翻訳ボランティア募集

外国からの訪問者のアテンドやレセプションでの通訳、案内文書やパンフレットの翻訳などの活動をしていただける方を募集します。

●申込期間/4月1日(火)～5月7日(水)

●語学資格/英語での登録を希望し、母語が英語以外の方の基準は、実技技能英語検定準1級以上、TOEIC700点以上、通訳技能検定2級以上。その他の言語については特に定めていません。日常会話程度の日本語能力が必要です。

- 登録期間／平成20年6月1日～平成21年5月31日
- 募集人数／英語30人、中国語30人、ポルトガル語20人、スペイン語20人、韓国・朝鮮語10人、タガログ語10人、タイ語10人、その他の言語各10人程度
- 活動にかかる交通費など／交通費などは実費支給。通訳：3時間以内1000円、3時間以上2000円支給。翻訳：A4用紙1枚あたり1000円支給。
- 問い合わせ先／514-0009 津市羽所町アスト津3階 財団法人三重県国際交流財団(担当:平野) Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp ホームページ <http://www.mief.or.jp>

- (2) 河川・海岸等に関するセミナーやスクールの実施、情報の提供、水辺を活かしたまちづくりに資する検討・啓発等の諸活動などの活動。
- 対象事業の期間／平成20年4月12日(土)～平成21年1月31日(土)
- 助成の額／1活動あたり上限10万円。助成件数は40件程度。
- 応募方法／応募様式はホームページからダウンロード。ホームページに掲載するエクセルデータでの申請に限りE-mailにて申請可能。その他の場合は郵送。
- 問い合わせ先／財団法人リバーフロント整備センター研究第一部 102-0082 東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル Tel.03-3265-7121 Fax.03-3265-7456 E-mail H20manabu@rfc.or.jp ホームページ <http://www.rfc.or.jp/>

助成金 ニュース

2008年全労済地域貢献助成事業

- 受付締切／4月10日(木)消印有効
- 助成の対象となる団体／日本国内を主たる活動の場とするNPO法人、任意団体等(NGO、ボランティア団体等)
- 助成の対象となる活動／【1】環境分野
 - ・地域の自然環境を守る活動
 - ・循環型地域社会を作るための活動
 - ・地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動
- 【2】子ども分野
 - ・親子の居場所づくりなど子育てを支援する場の活動
 - ・子どもの居場所づくりなど子どもの健やかな育ちを支える場の活動
- 対象事業の期間／平成20年8月1日～平成21年7月31日
- 助成の額／助成総額は環境分野2000万円、子ども分野1000万円の総額3000万円(上限)を予定。詳細については応募要項を参照。
- 【1】環境分野】一般助成…上限30万円、特別助成…上限100万円
- 【2】子ども分野】上限100万円
- 応募方法／応募要項などは全労済のホームページ(<http://www.zenrosai.coop/index.php>)よりダウンロードするか、以下の協働事務局までE-mailまたはFaxで請求。
- 問い合わせ先／分野で問合せ先が異なります。ご注意ください。

【1】環境分野

特定非営利活動法人地球と未来の環境基金(EFF) 全労済地域貢献助成事業事務局<環境分野> Tel.03-5298-6644 Fax.03-5298-6635(平日10:00～17:00 土日祝除く) E-mail grant@eco-future.net

【2】子ども分野

社団法人日本フィランソロピー協会 全労済地域貢献助成事業事務局<子ども分野> Tel.03-5205-7580 Fax.03-5205-7585(平日10:00～17:00 土日祝除く)

E-mail grant@philanthropy.or.jp

●応募先／全労済 経営企画部内 地域貢献助成事務局宛 151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

「川に学ぶ」活動助成

- 受付締切／4月11日(金)必着
- 助成の対象となる団体／市民団体、学校等の非営利団体。
- 助成の対象となる活動／昨年度から、従来の環境教育、自然体験等の活動の助成に加えて、行政とともに川づくりのパートナーとして連携する「河川を活かしたまちづくり」に関する活動も応援していますので積極的に応募ください。(1)河川・海岸等の水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動。

(財)庭野平和財団 活動助成(前期分)

- 受付締切／4月30日(木)必着
- 助成の対象となる団体・個人／個人・団体のいずれでも申請できます。申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動／【1、宗教的精神に基づく社会・平和活動】神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与することを志向する活動を意味します。具体的には、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策等の活動を指します。
- 【2、地域のエンパワーメントを創生する活動】地域のエンパワーメントを創生するために、様々な団体・個人が共に深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動の相乗効果による新しい価値観の創造を期待します。
- 助成の額／助成総額1000万円程度。1件あたり上限100万円。
- 対象事業の期間／前期は平成20年8月1日から1年間。※後期は平成20年11月1日から1年間の間に行われる活動とし、受付締切は8月13日(水)です。
- 応募方法／申請書類は下記のホームページからダウンロード。なんらかの事情で、ダウンロードできない場合は、財団へ電話、Faxまたは、E-mailにて連絡。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先／(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャングライ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4371 Fax.03-3226-1835 E-mail npfgrant@npf.or.jp ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

富士フィルム・グリーンファンド助成金

- 受付締切／5月19日(月)消印有効
 - 助成の対象となる活動／【活動助成】自然環境保全もしくは自然とのふれあい活動。
 - 【研究助成】身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究。
 - 対象事業の期間／贈呈日より1年。内容によって2年利用することも可能。
 - 助成の額／両助成合わせて助成総額は850万円。助成件数は4件程度。
 - 応募方法／応募要項はホームページからダウンロード。申請書類は簡易書留等で送付のこと。
 - 問い合わせ先／公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局 110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 (財)自然環境研究センター内 Tel.03-5824-0960 Fax.03-5824-0961 ホームページ <http://www.jwrc.or.jp/>
- 助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやアクセスサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



株式会社から各種法人設立、許認可申請、契約書作成 NPO法人設立手続のサポート

事業報告書等提出書、各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務 よいよ

0120-406-414 (フリーダイヤル)

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC)
三重県津市本町14-18 第1奥山ビル202

つながれ!……NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

今特集 NPO支援を志す人をサポートします! NPOスタッフ支援プログラム



プログラムの趣旨

NPOに関する基礎的な相談や1時間程度の簡単な講座の講師ができる実力を身につけるための実践的な連続講座を開催します。

実施日程

- ・オリエンテーション(5月9日(金)14時~16時)
- ・県外NPO講座受講(5月~7月)
1人2回。 ※受講料・交通費支給。
- ・第1回(8月初旬、平日午後3時間)
- ・第2回(10月初旬、平日午後3時間)
- ・事例取材(10月~11月) ※交通費支給
- ・第3回(12月初旬、平日午後2時間)
- ・第4回(1月中旬、講座の模擬実施)
- ・NPO講座実施(2月~3月)
1人1回1時間程度。 ※交通費支給

プログラムの特徴

- ★NPO支援実績のあるアドバイザーが参加します。
- ★最終的に1時間程度の講座の講師をしていただきます。

応募方法

- 応募資格 三重県内に住所をもつNPOのスタッフ(法人格の有無は問いません。)プログラムの全日程に参加できること。(オリエンテーションの日に日程調整します。)
- 参加費 無料
- 募集人数 5人(下記レポートにより選考)
- 応募方法 「住所」、「氏名」、「電話番号」、「所属するNPO名」を記載したレポート「この支援プログラムに参加して実現したいこと」(800字程度)を郵送、FAX、メールのいずれかで下記あて送付してください。
- 応募締切 4月21日(月)必着

問い合わせ先:三重県生活部NPO室 <http://www1.mienpo.net/npot/>

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971 E-Mail seiknpo@pref.mie.jp

中間 平成19年度第3回市民活動 支援(支援)センター情報交換会

3月11日、市民活動(支援)センターのスタッフと12市町の職員、県3室や各県民センター、合計36名が参加して、今年度最後の市民活動(支援)センター情報交換会が、開催されました。



日本NPOセンターの田尻さん

今回は、日本NPOセンター理事・事務局長の田尻佳史さんをお招きし、全国の市民活動センターの状況について、公設公営、公設民営、民設民営における特徴やその課題についてお話しいただきました。

市民活動(支援)センターは、なぜ必要か、誰をターゲットに、何をやっていくのかという提起の後、各センターや今後設置を検討している市町からそれぞれの

取り組みや平成20年度事業について発表していただき、情報交換を行いました。



問い合わせ先:三重県NPO室

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階
TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971
E-Mail seiknpo@pref.mie.jp
URL <http://www1.mienpo.net/npot/>

地域情報 「地方の元気再生事業」 まもなく募集が始まります!

地方再生の総合的な取組を進めるため、国が地方を支援する「地方の元気再生事業」が創設され、平成20年度から3ヶ年の予定でスタートします。

この事業は、地域固有の実情に即した先導的な地域活動等幅広い取組に関する提案を募集(公募)するものです。

応募団体のイメージは、①地域活性化に取り組む法人(NPO等)②地方公共団体 ③地方公共団体を構成員に含む法人格なき協議会で、①については地方公共団体(市町を想定)の推薦が必要となります。

行われる取組の目指すべき方向性としては、①複合的な取組 ②先導性・モデル性のある取組 ③持続性ある取組 ④相乗効果・波及効果の見込まれる取組 ⑤主体的な取組 ⑥計画性ある取組を想定しています。

助成のつきにくい合意形成やプロジェクトの検討に向けたソフト面に活用できる支援メニューで、ハード整備は交付の対象外です。

地域活性化に取り組むNPO法人の皆さんにとっても資金不足で取り組むことができなかった計画を市町担当者話し合っ一歩進めるチャンスかもしれません。

事業の詳細は、今後追って公表される予定ですので、ホームページ等でご確認ください。

●地域活性化統合本部会合ホームページ

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/>

問い合わせ先:内閣官房地域活性化統合事務局

北陸圏・中部圏地方連絡室

〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2

東海農政局4F(農林計画部農村振興課内)

TEL 052-223-4629 E-Mail g.hokuriku_chubu@cas.go.jp

がんばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。コーラスを通して様々な活動を行っている内藤さんが紹介してくださったのは高校の同窓生。伊藤さんは特技である手品をいかにして、施設などを訪問するグループ、さくら会を立ち上げました。

踊り全般、歌謡曲、手品…芸能サークルさくら会

……伊藤さんが手品を始めたのは？

会社勤めをしている時に、手品が得意な同僚とコンビになりまして。ある時、彼が「伊藤さん、これできる？」と、指の間で玉をコロコロと増やしていく手品を見せてくれました。その玉を借りて、試しにやってみたら、一発でできて、それを見た彼が、「手品をする気があるなら、道具の専門店を紹介するよ」と教えてくれました。最初に人前で演じたのは、会社の慰労会です。60人ほどの社員の前で、披露したのですが、意外に受けまして。それから図に乗りました(笑)。以来、退職するまで、年2回ずつと慰労会で披露しました。

……会社以外に披露したのは？

手品に興味を持って1年ぐらい経った時、松阪市でエンドレス会というボランティアグループが発足して、会員を募集していました。勤務先が松阪市でしたので、そこに応募したのが訪問を始めたきっかけです。7～8年在籍して、月1～2回、ボランティアに行きました。芸名は一十齋熊の助(いちじゅうさい・くまのすけ)です。

……現在の活動は？

平成16年6月に仲間と三人で、さくら会を立ち上げました。津市内を拠点にしつつ、三重県内各地をボランティアで回っています。今までに志摩市や大紀町などにも行きました。よほど都合が悪い時以外は、基本的にはお断りしません。

……メンバーは何人ですか？

最初はマジシャン二人と、踊りをされている方一人の計三人で始めたのですが、それぞれが周りに声掛けをして、賛同者が集まってくれました。主力メンバーは9～10人ですが、フラダンスや大正琴のグループも時々、参加してくれています。普通、施設を訪問する場合には、音楽は音楽、踊りは踊りとひとつの分野のグループが多いのですが、さくら会は「芸能サークル」と名乗っている通り、手品あり、舞踏あり、歌ありと、幅広い芸を一度に楽しんでもらえるようになっています。もちろん、要請があれば、分野を限って訪問することもあり

ます。

……訪問先は？

多いのは老人ホーム。その他、グループホームやデイケア施設、地区の祭りや集まりなどにも呼んでもらえます。変わったところでは、お寺の本堂に3回ほど呼ばれたこともあります。

……訪問先をどうやって探したのですか？

設立当時、高齢者施設をあちこち回って、こちらからお願いしました。その内に「入所者が喜んでいて、定期的に来て欲しい」と言ってもらえるようになりました。最初は毎月と言われたのですが、それはスケジュールが大変なので、隔月にしてもらいました。隔月で回っている施設が今、3カ所あります。

……今までに何回くらい訪問したのですか？

設立して足かけ4年で、100回を突破しています。一時期は月に5～6回、訪れていたこともありますが、さすがにメンバーから減らして欲しいという声が出まして、今は月3回くらいに調整しています。その月の予定をみなに伝えて、希望日を調整します。最終的には、7～8人で訪問しています。

……公演時間は何時間くらいですか？

高齢の方に見ていただく場合、体力的な問題もありますから1時間くらいですね。うちのプログラムは多彩ですから、本当はもっと時間が欲しいのですが、見ている方が疲れてしまいますからね。1時間で、手品も、踊りも披露するわけですから、裏方も大変です。専門のスタッフがいるわけではありませんから、司会進行、カメラマン、照明、ビデオまで全て自分たちでやります。時には、衣装を付けたまま裏方仕事をすることもありますよ(笑)。

……機材や衣装などはどうしているのですか？

移動費から何から、すべて自己負担です。音響設備や照明なども、メンバーの持ち物を借りています。そんなに立派な音響ではありませんから、歌手や演奏家には気の毒ですが、我慢してもらっています。衣装も踊りの人などは、大変です。小道具や髪も必要ですから、かなりの額になると思います。でも、メンバーたちはお小遣いなどを節約しても、ボランティアに行きたいという気持ちを持っています。

……訪問先から交通費などは出ないのですか？

時折、お気遣いいただいて謝礼やお志をいただくこともありますが、こちらから請求することは一切、ありません。いただいた謝礼なども、年数回行う練習会での会場費やソフトドリンク代に使わせてもらっています。

……それでも「行こう」と思うのは、なぜ？

やはり見てもらって、楽しんでもらうことが喜びだからでしょう。私は司会進行も務めることが多いのですが、その時は「みんな一生懸命やりますから、上手だな、良かったなと思ったら、何もいりませんから拍手だけしてください。拍手する元気がなかったら、笑ってください。それだけで嬉しいですよ」とお話しします。

……訪問先の方も喜んでくれるでしょう。

なかには「待とったで」と声をかけてくれる人もいるから、嬉しいですね。我々としても発表の場がたくさんできて嬉しいですよ。それを見て、楽しんでくれたら、もう大満足です。楽しんでもらって、その時間を生き甲斐にしてもらえたらいいなと思っています。

……新メンバーは募集していますか？



芸能サークル さくら会

伊藤弘道 さんに 聞く

うちのメンバーは皆、自分の芸に自信を持っている人ばかりです。踊りの方たちなんて、それぞれの流派の名取だし、師匠級ですから、腕に覚えのある方はぜひ。「芸は何もないけど、参加したい」という方にはぜひ、スタッフをお願いしたいですね。

……さくら会の雰囲気は？

自分たちが楽しむだけではなく、メンバー同士が家族的な会話ができるし、信頼関係ができてきました。会を作って良かったなと思っています。

おしゃべりの間に手品を披露!?

……伊藤さんの手品はどんな雰囲気なのですか？

私が出る時には「おしゃべりマジック」というタイトルで出ています。簡単な手品だけど、ユーモアで楽しませるマギー司郎のような感じで、おしゃべりでも楽しませています。開演すぐにおしゃべりが入って、手品の合間も話してますね。時にはお客さんを上げたり、下げたり(笑)。でも、最終的には励まして、明るい気持ちになってもらえるように話すことを心がけています。

見てもらって、楽しんでもらうことが喜びだからでしょう。

……おしゃべりで上げたり、下げたり…。綾小路きみまろみたいですね？

私が手品を始めて20年ですから、綾小路きみまろより、私の方が先だったんじゃないかな(笑)。普通、手品師というのはあまりしゃべらないものです。でも、私は手品を始めた頃から、黙って演じて面白くないなと思っていました。もちろん、黙って見せても面白いくらい、立派な手品ならいいですけどね。手品は人に感心してもらうことが特色ですが、それだけではなく、お客さんを笑わせることもミックスさせたいって。

……月数回も公演があると、内容を考えるのも大変でしょう？

手品の世界では、1回見せたら3年、同じ人には見せるなど言いますが、私は余り変えてません(笑)。もちろん、変える努力はしますが、2ヶ月に一度、訪問していれば、観客はほとんど同じですからね。それよりも気を付けているのは、おしゃべりの話題探し。今の社会情勢などを交えて、笑いに変えるために、毎日、テレビや新聞を見ながら考えています。お客さんから「今日は、どんな話?」と聞かれますから、幾つか仕込んでおかないとね。



メンバーとお客様とで記念撮影。

……どんな話題があるのですか？

遊びの話もあれば、政治経済の時もあります。高齢の方が多いためから、年金の話とかね。高齢の方相手の時は、やはり長生きしてもらいたいという気持ちを込めて、長生きのための秘訣などを話すこともあります。長生きするには笑わないとダメ。運動もしないといけないし、食べる物にも気をつけないといけない。食べ方もそう。鶴亀万年願うなら、つるつる飲まずに、かめよ、かめかめ。鶴亀にあやかりうと思ったら、うどんも、牛乳もよく噛んで食べなさいって言う、「あんた、ええこと言うなあ」って、お客さんから声が掛かりました(笑)。話しながら、お客さんとやりとりするのです。もちろん、その時の顔ぶれを見て、話題は考えます。どこでも、同じ調子で話すわけにはいきません。

……ご家族の反応は？

手品を始める時に、手ほどきしてくれた同僚が「手品をやるなら、それ以外の趣味は辞めて、その分のお金を掛けなさい。月10万円は使うつもりでやりなさい」と教えてくれたのですが、実際、それぐらい節約しましたね。おかげで、今、手品の道具がいっぱいです。6畳間にいっぱい詰まっているのですが、最近、他の部屋にも進出してきて、妻に怒られています(笑)。

……余り協力的ではない感じですか(笑)

最初は「人に笑われること、警察にやっかいになることはするなとおばあちゃんに言われたのに、あなたは率先して人に笑われている」と、笑っていました。それがあの日、「一度、どんなことをしているのか見てみたい」と言いました。ちょうど、私一人で公演する機会があったので、一緒に連れていきました。病院のデイサービスの方を対象にしたクリスマスパーティーでしたが、利用者の方にまじって、客席から見ましたよ。「面白い」って、手を叩いて喜んでくれました。それ以来、私の活動を理解してくれるというか、気持ち的には応援してくれるようになりました。経済的、時間的な応援は今もありませんけど(笑)。でも、他に何か悪いことしてくるよりも、マシかなと思ってきているのだと思います。

芸能サークル さくら会

514-0003 津市桜橋2-84-2

Tel.059-227-2835

伊藤弘道さんはこの人を **紹介** します。

岩根静栄さん

特技である手品を活かして、施設などの慰問やイベントなどに参加しています。

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

270 PRINTED WITH SOYINK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。